

輸入車

商業施設

医師が患者の症状に合わせ、医薬品を指定する処方箋。厚生労働省は省令で紙での発行や保管を義務づけてきたが、電子化の解禁を検討していると聞いた。

病院の診察室で、医師がパソコン画面を見ながら患者に告げる。「アレギーがありますね。この薬はやめておきましょう」。画面には別の病院も含め、患者が過去に服用した薬がずらり。初診でも、簡単に患者の状況がわかる。

大分県別府市。14の医療機関と30の薬局が処方箋を電子データにしてやりとりする実証実験だ。紙だと難しい情報の共有が可能にな

ドリルを手にとれ

規制... 岩盤を崩す

「薬剤しにくい」

「調剤しにくい」

「調剤しにくい」

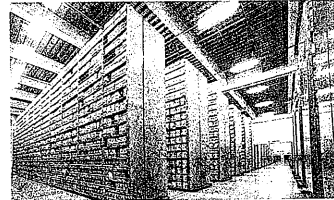
「調剤しにくい」

「調剤しにくい」

進まぬ「ペーパーレス」

ています」。紙をパソコンなどの端末に替える、すぐそばに置けなかつたり操作が必要だったりして、調剤しにくいという。

検討を始めて約10年。省令改正は2015年度中のはずだが、中身は白紙。医療情報を共有すればムダな投薬が減るはずなのに、その機運は乏しい。電子カルテは認められ保者からこんな話も聞いているが、導入は全国の病院だ。「電子処方箋は医療用



倉庫に眠る書類の群れ。この風景はいつまで...

医療・納税：電子化拒む

医療品のインターネット販売を可能にする。販売解禁論を警戒しているのでは」

スマホ画像はX

05年施行の「e-文書法」。企業などが紙で保管してきた文書を原則、電子データで保存できるようにした。だが個別の法令による骨抜きは多い。たとえば、領収書や契約書などの税務書類。7年間の保存が義務づけられているが、電子保存は普及していない。

「スマートフォン（スマ

ホで撮影した領収書の画像ではダメですか」。昨年9月、ソフトバンクモバイル情報システム本部課長の富永さん(49)と担当の黒石真美子さん(29)は東京国税局の担当官に頼み込んで、約2万枚も集まる領収書を画像での収集と保存に切り替えた。担当官の答えは「ノー」だった。

電子保存の条件は厳しい。紙を画像化するとき、不正があると、なんだかピンと来る。画像データの質と色合いが合わない。紙を画像化するとき、不正があると、なんだかピンと来る。画像データの質と色合いが合わない。紙を画像化するとき、不正があると、なんだかピンと来る。画像データの質と色合いが合わない。

署名をし、日時を示すタイムスタンプを押す。手間も費用もかかる。黒石さんは「森下電一教授」。職員をコンピュータに替える心配しているのでは」(久保利英明弁護士)

スマホの普及などで「ペーパーレス」の流れは加速する一方、電子政府をうらなう、時代に取り残された規制はなくすべきだ。国書類しか受けつけませんと言われたら面倒だ。

電子版にインターネットで「電子化を進め」▼W eb刊「紙面運動」

ながら話してくれた。批判も多い。政府の規制改革会議の議事録をのぞいて

ながら話してくれた。批判も多い。政府の規制改革会議の議事録をのぞいて

ながら話してくれた。批判も多い。政府の規制改革会議の議事録をのぞいて